

平成25年4月

ひょうたん島川の駅ネットワーク構想(中間素案)

ひょうたん島川の駅ネットワーク構想は、平成25年度末の構想策定を目指して、現在、ひょうたん島川の駅ネットワーク市民構想会議において、内容の検討をしているところです。

この中間素案は、平成24年度中に開催した市民構想会議(3回)とワークショップ(1回)の内容をもとに整理したもので、今後、この中間素案をもとにより深く内容の検討を進めていく予定です。

なお、今後の市民構想会議の審議により内容を変更する場合があります。

徳島市都市整備部再開発推進室

ひょうたん島川の駅ネットワーク構想コンセプトおよび基本方針（中間素案）

1．背景

徳島市は、平成4年に策定した「ひょうたん島水と緑のネットワーク構想」に基づき、約20年間に渡り、ひょうたん島周辺の水辺環境の整備を行ってきた。

平成19年度には、第4次徳島市総合計画「心おどる水都・とくしま」を策定し、平成22年度には「心おどる水都・とくしま」発信プランとして、「水都」を都市の魅力のキーワードの一つとして定め、川の駅ネットワーク整備を重点事業として位置づけている。

また、ひょうたん島周辺では、NPO法人等の各種団体が、拠点として活動を展開している等、市民においても親しみやすい水辺空間となっており、水を生かした水都とくしま固有の文化が醸成されつつある。

2．目的

本構想は、ひょうたん島を構成する川を中心としたまちづくりに寄与するため、川の拠点づくりとして「川の駅」を計画し、そのネットワークを構築することで、現在、活動を展開している既存の活動団体等を含む多くの市民や徳島市を訪れた人々に、水都とくしまの魅力の再発見や、川を生かした憩いの場・交流の場としての利活用を促進することで、にぎわいの面的な広がりを目指すものである。

3．川の駅の棧橋について

本構想においては、7か所の川の駅候補地を選定し、それぞれを船で結ぶネットワークの拠点として位置づけている。詳細については平成25年度において検討する。

新町橋河畔棧橋（拠点となる川の駅） あわぎんホール前棧橋 文学書道館寂聴棧橋
助任橋袂棧橋（未整備） 徳島文化公園前棧橋（未整備） 万代中央ふ頭棧橋 新町川
水際公園ボートハウス前棧橋

- ・あわぎんホール前棧橋については、イベント時対応の川の駅棧橋と位置づける。
- ・2か所の未整備棧橋における整備の優先順位は、助任橋袂棧橋、徳島文化公園前棧橋の順とする。
- ・県庁前棧橋の整備については、今後の川の駅の利用状況等を見極めながら、将来的な検討課題とする。

4．川の駅舎について

川の駅候補地については、市民活動団体等を中心とした活動展開により、川とその後背地を生かしたまちづくりの拠点として整備する方針であることから、川の駅舎は重要な役割を担う施設となると考えられる。そこで、新町橋河畔棧橋に拠点となる川の駅舎、また、助任橋袂棧橋に市民活動団体等が活動できる川の駅舎の整備を目指すものとする。

このうち、新町橋河畔棧橋の拠点となる川の駅舎については、新町西地区市街地再開発事業の中で整備を検討することとし、助任橋袂棧橋については、新町橋河畔棧橋川の駅舎の利用状況や利用者の意見等を十分検証したうえで整備内容を検討する。

5．川の駅ネットワークを結ぶ船の運航

現在、NPO法人新町川を守る会により、周遊船のボランティア運航が行われており、川の駅のネットワーク整備後においても、同会が主体的な運航を行い、その活動を市が支援していく。

川の駅の整備後は、新町橋河畔棧橋を船の発着拠点として、当面は、下記の船の運航形態（方針）に基づいて運航する。

表 1 船の運航形態（方針）

<ul style="list-style-type: none">・ 運航主体は、NPO法人新町川を守る会とする・ 運航日は、NPO法人新町川を守る会の周遊船の現行運航に準ずる 元旦は運休とするが、それ以外は通常運航を行う 但し、悪天候の場合及び警報発令時は、欠航とする・ 基本の運航時間は、NPO法人新町川を守る会の周遊船の運航時間とする （午前 11:00～午後 3:40） 但し、潮の干満等の影響により、時間やルートの変更を行う場合がある・ 始発の川の駅においては、あらかじめ出航時間を決めておくが、各川の駅においては、運航時に船を止めて乗下船する 但し、イベント時においては、適宜イベント主催者と運航日程を調整する

また、将来的には、ひょうたん島周辺を拠点として活動する団体等の参入についても、適宜対応し、調整を行う。

6．全体コンセプトおよび基本方針

ひょうたん島川の駅ネットワークの全体コンセプトおよび基本方針を以下に示す。

市民活動団体等を中心とした活動展開により、川とその後背地を生かしたまちづくりの拠点として整備する。【川まちづくりの拠点】

市民の日常生活に根付き、来訪者の興味を高めるとくしまの新たな風物詩として展開できる場を実現する。【とくしまの新たな風物詩】

市民や来訪者が、まちあるきを楽しむ徳島ならではの川を活用した手軽な移動手段として利用できる拠点づくりを行う。【手軽な移動手段の拠点】

7. 個別コンセプトおよび基本方針

ひょうたん島川の駅候補地における後背地を考慮した個別コンセプトおよび基本方針を以下に示す。

新町橋河畔棧橋・・・・・・・・・・【上質な文化的生活空間】

音楽芸術ホールや日常の買い物が楽しめる上質な文化的生活空間としての活用を図る。

あわぎんホール前棧橋・・・・・・・・・・【イベントや文化を楽しむにぎわい空間】

イベントや文化活動等で利用する各種公園や施設で楽しむにぎわい空間としての活用を図る。

文学書道館寂聴棧橋・・・・・・・・・・【文化・水・花の複合空間】

文学書道館等の文化施設や小中学校等に隣接する文化・水・花の複合空間としての活用を図る。

助任橋袂棧橋・・・・・・・・・・【城山の川の玄関口となる憩い空間】

徳島中央公園（城山）の川の玄関口として、公園と一体となった憩い空間としての活用を図る。

徳島文化公園前棧橋・・・・・・・・・・【徳島の歴史と出会う親水空間】

関寛斎の碑や藩政の松を代表とする徳島の歴史と出会う親水空間としての活用を図る。

万代中央ふ頭棧橋・・・・・・・・・・【港景観を楽しむにぎわい空間】

万代倉庫群による港独特の雰囲気を生かし、港景観を楽しむにぎわい空間としての活用を図る。

新町川水際公園ボートハウス前棧橋・・・【船だまりのある光のアート空間】

NPO法人新町川を守る会の拠点であり、周遊船の船だまりのある光のアート空間を生かしたイベント開催等により活性化を図る。

8. ひょうたん島周辺とそれ以外の航路との関係

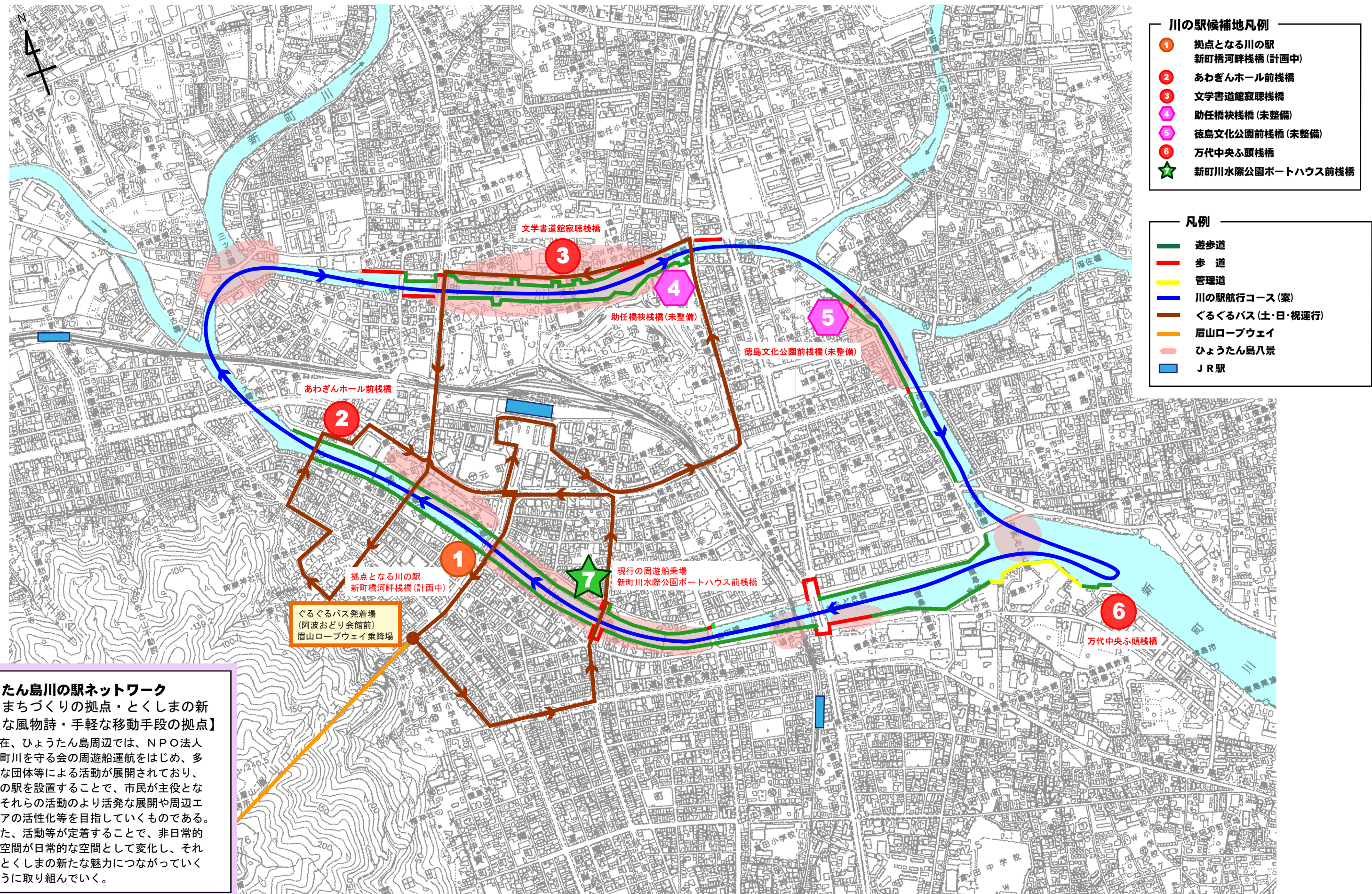
現在、NPO法人新町川を守る会の周遊船は、ひょうたん島周辺以外に、北島町等のルートでも運航を行っている。

これらについても、十分に検討を行い、試験運航等により利用状況を検証したうえで、将来的に本格導入の可能性を探る。

こうした試みにより、既存の周遊ルートと新たなルートの併用により、川からの風景を楽しむことで、川の駅の存在価値を高めるとともに、川の魅力や川の駅そのものの魅力を発見する可能性につなげていくものとする。

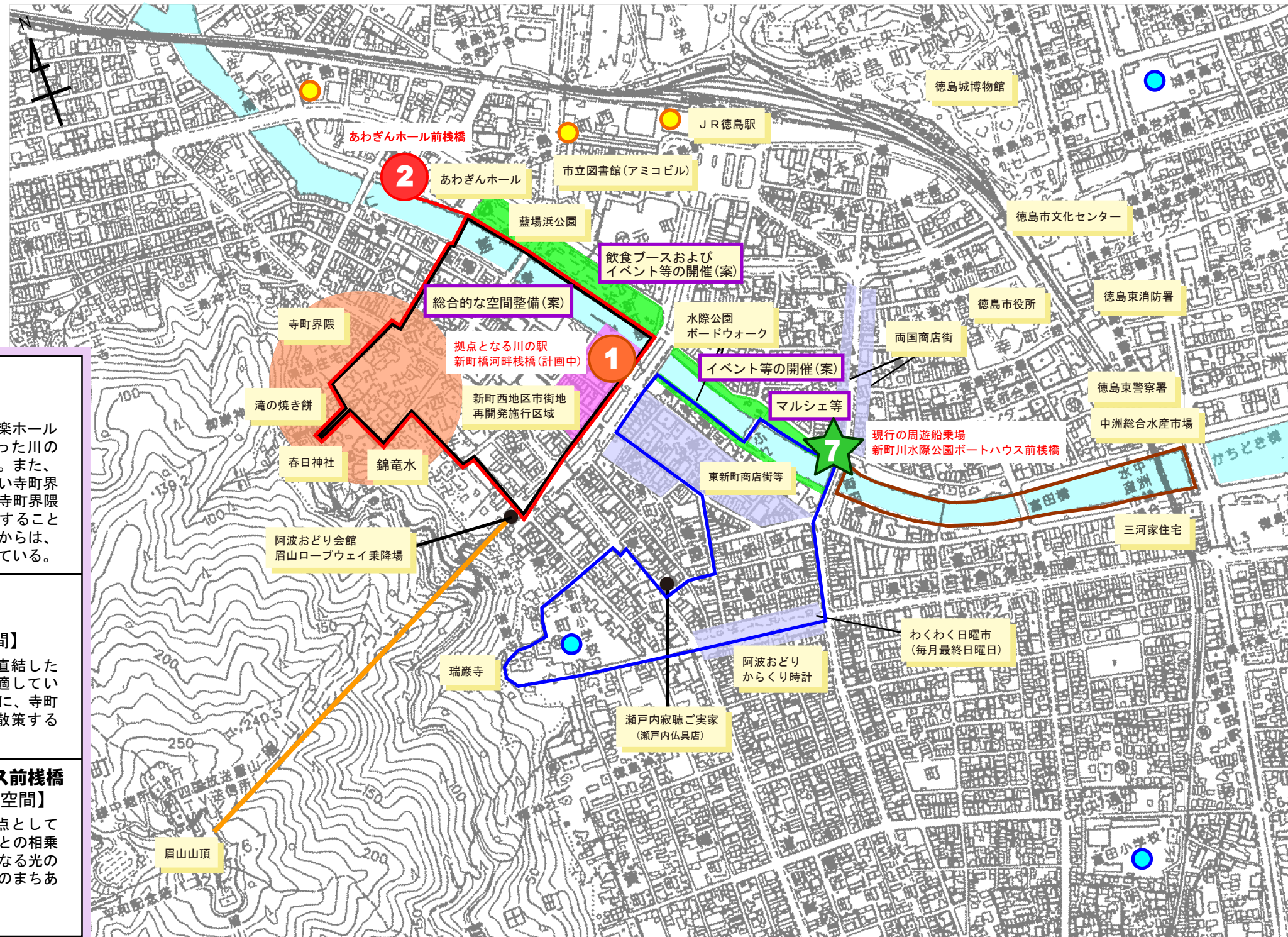
川の駅候補地およびその周辺の利活用(案)

■既存プロムナード等



川の駅候補地およびその周辺の利活用(案)

■エリア：①

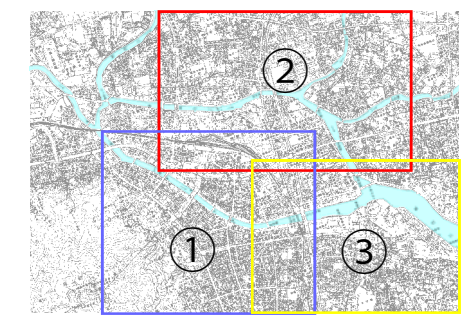


- ① 新町橋河畔棧橋**
【上質な文化的な生活空間】

新町西地区の再開発にあわせ、音楽ホールや商業施設等の整備と一体となった川の駅整備に取り組んでいる(計画)。また、後背地には、中心市街地には珍しい寺町界隈があり、拠点となる川の駅から寺町界隈のまちなみや、眉山の裾野を散策することができる。また、阿波おどり会館からは、眉山山頂へロープウェイが運行している。
- ② あわぎんホール前棧橋**
【イベントや文化を楽しむにぎわい空間】

あわぎんホールや藍場浜公園に直結したエリアで、イベント時の利用に適している。また、新町橋河畔棧橋と同様に、寺町界隈のまちなみや眉山の裾野を散策することができる。
- ⑦ 新町川水際公園ボートハウス前棧橋**
【船だまりのある光のアート空間】

NPO法人新町川を守る会の拠点として整備されており、新町橋河畔棧橋との相乗効果で、ひょうたん島のメインとなる光のアート空間を有すると共に、周辺のまちなみや眉山山頂へロープウェイが運行している。



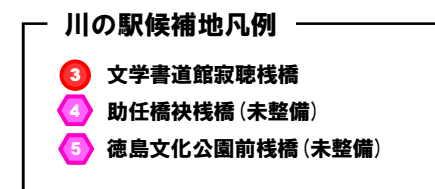
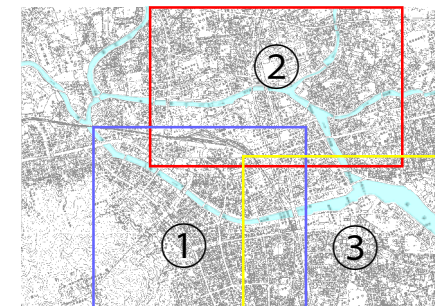
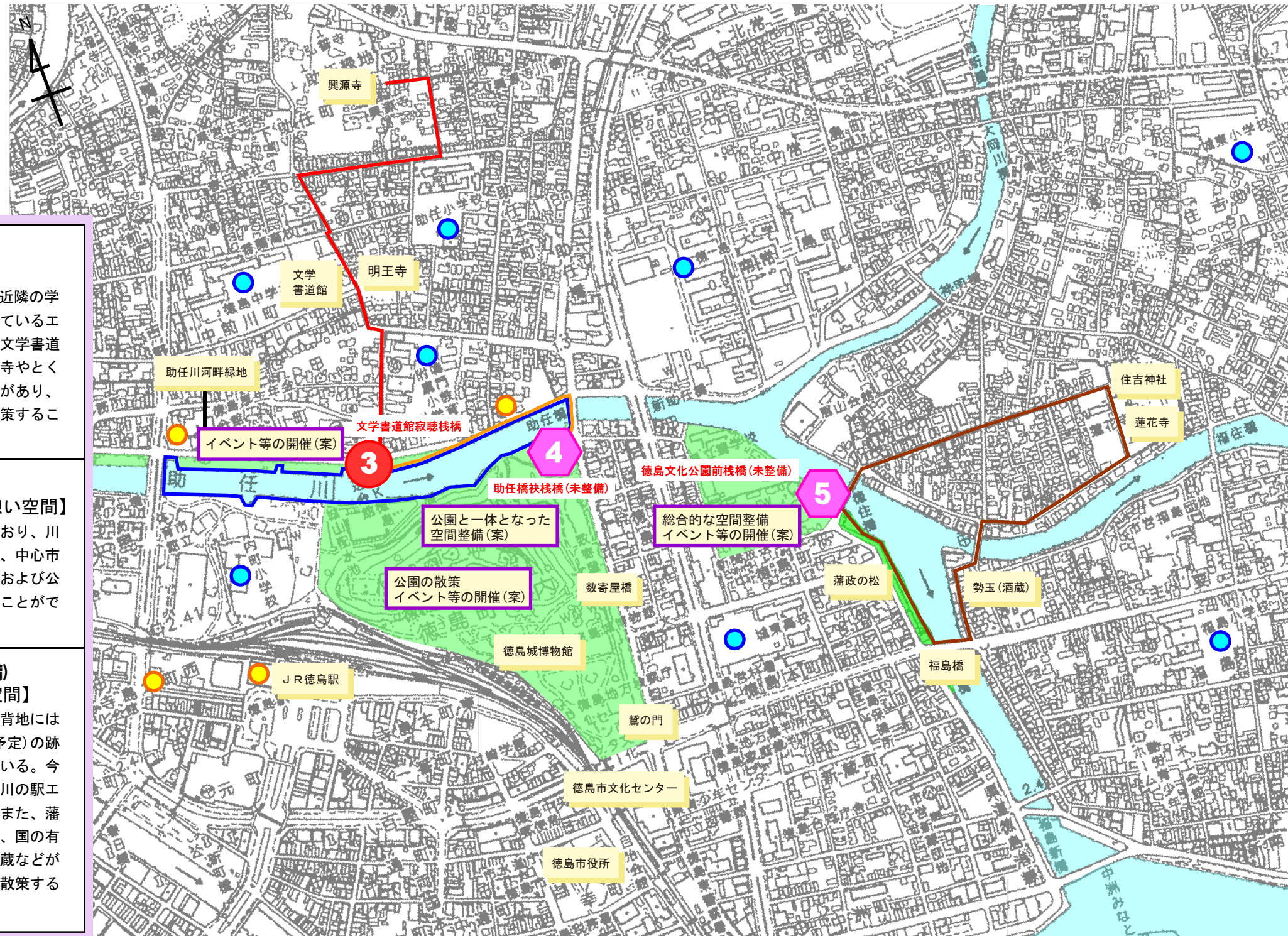
- 川の駅候補地凡例**
- ★ 新町川水際公園ボートハウス前棧橋
 - ① 拠点となる川の駅 新町橋河畔棧橋(計画)
 - ② あわぎんホール前棧橋

- 凡例**
- ウォーキングコース 1.7km
 - ウォーキングコース 1.8km
 - ウォーキングコース 2.3km
 - ウォーキングコース 1.6km
 - 眉山ロープウェイ
 - 利活用の例
 - 主な施設
 - ホテル・結婚式場等
 - 学校

S=1:8000

川の駅候補地およびその周辺の利活用(案)

■エリア：②



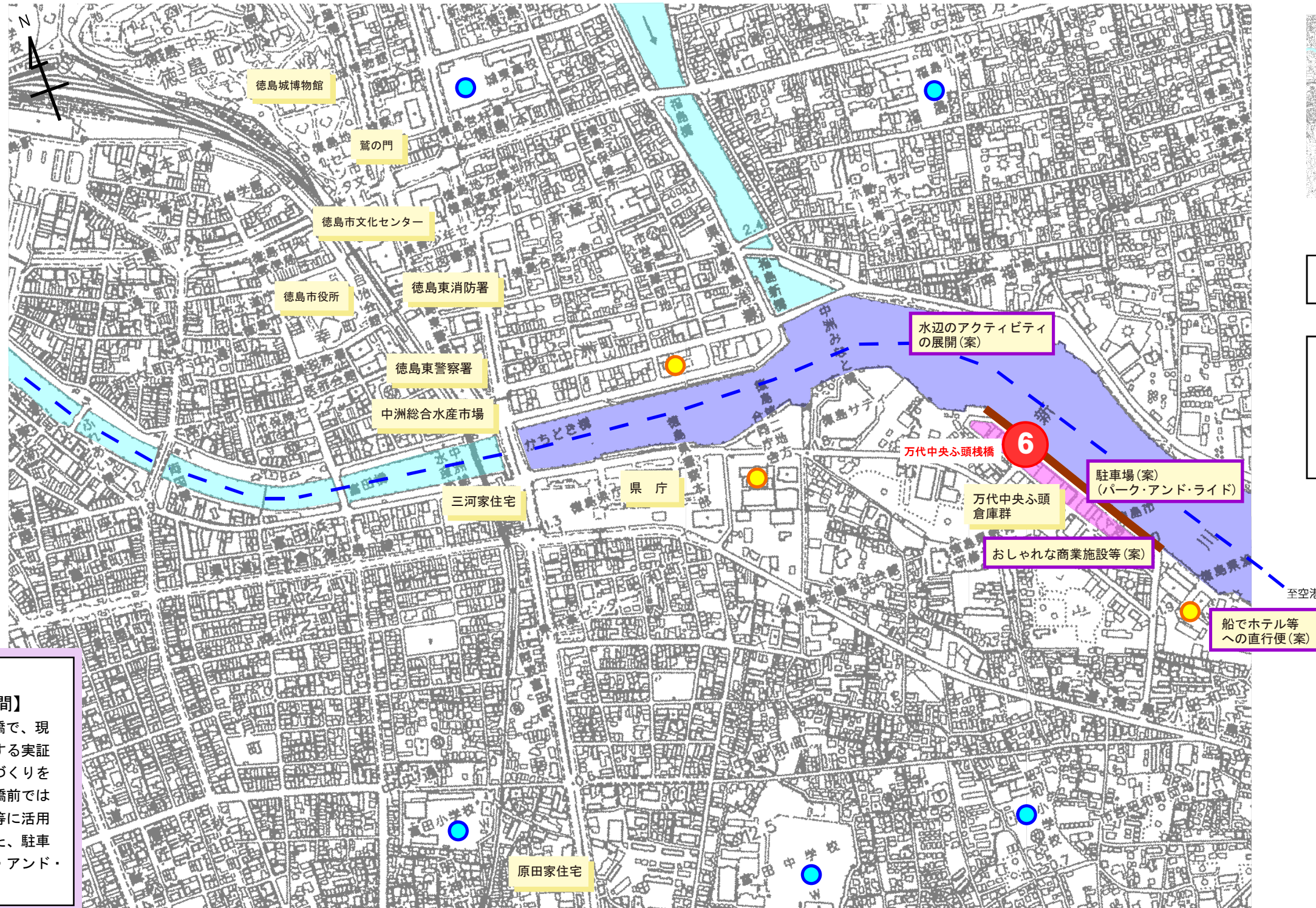
③ 文学書道館寂聴棧橋
【文化・水・花の複合空間】
 助任川河畔緑地に隣接しており、近隣の学校に通う子どもたちにも親しまれているエリアである。また、後背地には、文学書道館を始め、蜂須賀家菩提寺の興源寺やとくしま七福神の一つである明王寺等があり、徳島の歴史や文化に触れながら散歩することができる。

④ 助任橋袂棧橋(未整備)
【城山の川の玄関口となる憩い空間】
 徳島中央公園(城山)に隣接しており、川から直接、公園に入ることができ、中心市街地では珍しい城山の自然原生林および公園内の散策やイベント等を楽しむことができる。

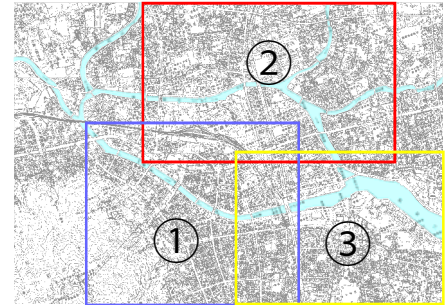
⑤ 徳島文化公園前棧橋(未整備)
【徳島の歴史と出会う親水空間】
 徳島文化公園に隣接しており、後背地には動物園や聾学校(平成26年度移転予定)の跡地等のかなり広い空間が広がっている。今後、これらの跡地利用と連携した川の駅エリアとしての利活用が望まれる。また、藩政の松、住吉神社、福島橋(伝説)、国の有形文化財に登録されている勢玉酒蔵などがあり、徳島の歴史が息づく名所を散歩することができる。

川の駅候補地およびその周辺の利活用(案)

■エリア：③



⑥ 万代中央ふ頭棧橋
【港景観を楽しむにぎわい空間】
 万代町の倉庫群につながるふ頭棧橋で、現在、倉庫群の新たな用途に利活用する実証実験等が行われており、にぎわいづくりを推奨するエリアとなっている。棧橋前では水辺のアクティビティやイベント等に活用できる水辺空間を有している。また、駐車場を利用することで、船のパーク・アンド・ライドの拠点としても活用できる。



- 川の駅候補地凡例**
- ⑥ 万代中央ふ頭棧橋
- 凡例**
- ウォーキングコース 1.2km
 - 利活用の例
 - 主な施設
 - ホテル・結婚式場等
 - 学校

S=1:8000